

特養施設長殺害

ホームの場所尋ねる

犯行2時間前 GSに中年男

んぼでは九日、容疑者が投げ捨てたとみられる郷田さんのセカンドバッグも見つかっている。

これまでの調べでは、郷田さんの遺体は町道沿いの牧草地の溝に、すっぽりと入っていたことも判明。捜査本部は遺体の発見を遅らせるため、容疑者が溝に遺体を隠した可能性が強い、とみている。

広島県山県郡大朝町大朝の特別養護老人ホーム「やすらぎ」の施設長郷田和昭さん(四十九)同町宮迫IIが刺殺された事件で、犯行時刻とみられる八日午後六時ごろの約二時間前、中年の男性が隣町の同郡千代田町内のガソリンスタンドに立ち寄り、老人ホームの場所を尋ねていたことが十三日、分かった。八日夕、郷田さんと立ち話をしているのを目撃された男性とほぼ同年齢で、広島県警の捜査本部もこの事実をつかんでおり、刺殺事件との関連を調べている。

調べなどによると、男性が立ち寄ったのは、千代田町今田の国道201号沿いのガソリンスタンド。八日午後四時ごろ、白い軽乗用車で乗り付け、アルバイト従業員に「やすらぎを教えてください」などと場所を尋ねた。後半。茶色っぽい上着を着ていた、という。

老人ホーム近くの町道で事件前、郷田さんと立ち話をしていた男性も四十歳代とみられ、捜査本部は事件にかかわりがあるかどうか調べている。ガソリンスタンドから約三キロ北の千代田町春木の国道201号沿いの田